



七色のかがやき

長崎市立虹が丘小学校 学校便りNo.8

令和7年 9月 1日(月)

編集・発行責任者 校長 池田敏典

E-mail e52@nagasaki-city.ed.jp

G-mail nijigaoka@gmail.com

ちょっと背伸びして・・・2学期始業式の講話から

虹っ子のみなさん、おはようございます。そして、お帰りなさい。

2学期スタートの今日、みなさんとうして会えたことが校長先生が一番の喜びです。

さて今日は、校長先生自身、言い換えますと、池田敏典という人間についてお話しします。池田敏典という人間がどうやって出来上がってきたか、しっかりと聞いて欲しいと思います。

以前、お話ししたことがあったと記憶していますが、校長先生が中学2年生の時、担任の先生から「池田は、何のために勉強しよっとか」といきなり質問され、なんと答えたか覚えている人はいますか？

当時の池田君は、「モテるためです」と答えたのでした。本当の意味は、誰からも信頼される人になるためということです。そのために、池田君は、常に、ちょっとずつ背伸びをしながら毎日を過ごしてきて、今に至っています。

「背伸びをする」という意味が分かりますか？人は誰でも、今のままの自分でいれば、我慢することも、きつい思いをすることもなく、楽に過ごせますよね。でも、池田君は、いろんなことでちょっとずつ背伸びして、誰からもモテる人を目指してきたわけです。

例えば、「今日の数学の問題、ものすごく難しいなあ。でも、これが解けたらカッコいいよな。答えが分かるまで頑張ってみよう。」とか、「跳び箱の新しい技、少し怖いなあ。でも、できるようになったらカッコいいよな。」「この漢字、画数が多くて覚えるのが大変そうだなあ。でも、難しい漢字をスラスラ書けたらカッコいいよな。」「委員会の仕事、毎日大変だけど、確実にやってる姿はカッコいい

よな。」「給食当番、お休みの人の分を進んで引き受けたらカッコいいよな。」「・・・すべてがこんな感じてした。もちろん、いつも出来ていたわけではなく、うまく出来ないこともたくさんありました。それでも、自分をちょっとでもカッコよくするために、背伸びをしてきたのでした。それは、先生になってからも同じです。誰か、この計画を立ててくれないかな、誰か、この仕事を引き受けてくれないかな、誰か、研究授業を引き受けてくれないかな・・・なんて言われると、他に誰もいなければ、「私でよければ」と引き受けてきました。こうした毎日を積み重ねてきて、今の池田敏典があるわけです。ただ、この池田敏典が、誰からもモテる人になっているかという、自信はありませんが・・・。

「ちょっと背伸びをする」・・・言い換えると、「ちょっと我慢して努力する」「ちょっと我慢して実行する」とも言えるでしょうか。

本年度のはじめ、みなさんには、「七色のかがやきを身に付ける」こと、「自分から進んで学習に向かう態度をつくる」ことを頑張りましょうと言いました。1学期の終業式では、「みなさんには自分で学ぶ力があります」と言いました。

どうでしょう・・・この2学期、みなさんも、ちょっとずつ背伸びをして、七色の一つでもいい、確実に身に付けてみませんか。うまく出来なくてもいい、授業中、真剣に考えてみませんか。毎日、背伸びを続けることで、みなさんは、必ず、誰からもモテる人へと近付き、成長します。

みなさんが、それぞれにモテる人となり、お互いに信頼し合い、すべての人が「うるとらはっぴい」になる2学期にしていきたいと思います。

子どもたちが「ちょっと背伸び」をするためには、まずは、《早寝・早起き・朝ご飯》による生活リズムの習慣化が不可欠です。特に朝ご飯は、学校での活動のエネルギーとなります。御家庭での御配慮をお願いいたします。



2学期スタートと同時に、3年生のお友達が一人増えました。また、職員も新たに一人、本校に勤務していただくことになりました。こちらにつきましては、本日配付のお知らせ文書を御確認下さい。

2学期も、どうぞよろしくお願いいたします。